

あ げ お 議会 だより



主な内容

市長の提案説明	2～3ページ
委員会の主な審査内容、討論	4～6ページ
今議会で決まった人事	6ページ
第一回臨時会	6～7ページ
全員協議会	7ページ
提出議案とその結果	7～8ページ
市政に対する一般質問	9～15ページ
委員会活動、意見書	16ページ

3月定例会

平成21年度一般会計予算、
各特別会計等予算など39議案
を可決

桜の下のなかよしさん (平塚公園)

平成21年3月定例会日程

- 2月25日……開会、議案の上程、提出議案の説明
- 3月2日……提出議案に対する質疑、委員会付託
- 3月3・4日……総務・建設水道消防常任委員会
- 3月5・6日……文教経済・福祉常任委員会
- 3月10日……一般質問
- 3月11日……一般質問
- 3月12日……一般質問
- 3月13日……一般質問
- 3月19日……委員長報告、討論、採決、追加提出議案の上程・説明・質疑・採決、議員提出議案の上程・採決、閉会

第146号

平成21年(2009)
5月号

発行/上尾市議会
編集/議会報編集委員会
〒362-8501
埼玉県上尾市本町3-1-1
電話048-775-9467

平成21年度予算が決定

3月定例会で審議した議案は、市長提出議案が33件、議員提出議案が7件、委員会提出議案が1件の計41件で、うち39件を原案のとおり可決・同意し、2件を否決しました。



3月定例会で提案説明する市長

市長の提案説明から

○平成21年度一般会計予算

平成21年度予算編成にあたっては、世界的な景気後退の影響が本市にもおよび、法人市民税をはじめとする市税収入が大幅な減となる見込みですが、国・県支出金や市債などの特定財源の更なる活用を図り、また限られた財源を効率的に配分するため既存経費の更なる見直しや事業の厳選を行うとともに、平成20年度の国の補正予算

を活用して事業を前倒しして実施することなどにより、真に市民生活にとって必要性・緊急性の高い事業への財源確保に努めました。

『市民と築く 開かれたまち』

では、市民の自主的な活動の支援・促進および市民との協働の推進を図るため、新たに上尾駅東口プラザ館3階を（仮称）市民活動支援センターとして整備するほか、地域コミュニティ活動の拠点となる町内会の「集会所等整備補助事業」や「中学生中国派遣事業」に係る経費を引き続き計上しました。

『思いやりのあるまち』では、「妊婦保健事業」として妊婦健診を5回から14回へ拡充するほか、乳がん（マンモグラフィ）検診の自己負担の無料化を実施します。また「新型インフルエンザ対策事業」として、対策用品の整備や市民対象の講演会の開催経費などを計上しました。平成20年度「市制施行50周年記念敬老事業」で大変好評をいただいた、65歳以上の市民を対象とした市内循環バス「ぐるつとくん」の運賃無料化を、平成21年度以降も同じく9月を敬老月間として継続実施することとしました。また保育所待機児童の解消に向け、原市地区に新たに30人定員の保育園を整備する社会福祉法人に対し必要な補助をする「民間保育所施設整備事業」に係る経費を新たに計上しました。そのほか、増加傾向にある生活保護費などの社会保障経費について、それぞれ必要な額を措置したところです。

『潤いのあるまち』では、「街区公園整備事業」として、上平第三土地区画整理地内に「ぼうの下公園」などを新設するほか、「ふるさとの緑の景観地保全事業」として、県が指定する中分地内の用地買収に係る経費や、新たに大字久

保地内に「ふれあいの森」を整備するための経費、「自然環境保全事業」として、市内緑地面積の調査に係る経費をそれぞれ新たに計上しました。

『安心・安全なまち』では、不測の事態に備えて、地震および洪水ハザードマップを一冊にまとめた「災害ハザードマップ」を作成し全戸に配布するほか、雨水貯留施設の設置などに係る経費の一部を補助する「雨水貯留施設設置等補助事業」の予算を新たに計上しました。「既存建築物耐震改修促進事業」については、これまでの木造戸建住宅の耐震診断経費に加え、新たに耐震改修工事に対して補助対象とすることとしました。また、新たに宏栄橋の耐震補強および落橋防止工事を実施するほか、「上尾駅整備等事業」や「電線地中化整備事業」などの大規模な継続事業についても必要な予算措置を講じました。

『活気と賑わいのあるまち』では、

農業の振興として、農業者の「経営改善活動支援事業」に係る経費のほか、宏栄橋の耐震補強工事にあたり農産物直売所の隣接地への移転経費を新たに計上しました。また商工業の振興としては、「商

店街環境整備事業」や「商店街活力再生推進事業」、「商工会議所等補助事業」など市内企業、商店の活性化を図るための事業に係る経費を引き続き計上しました。

『心豊かなまち』では、学校施設の整備として、小学校8校および中学校10校の耐震設計などに係る経費や、富士見小学校の校舎改築実施設計に係る経費を新たに計上しました。なお、大石南小学校、瓦葺小学校、東町小学校、大石北小学校、上尾中学校および瓦葺中

学校の校舎大規模改造(耐震補強)工事につきましては、国の補正予算を活用するため、平成20年度3月補正予算に計上した上で、平成21年度に繰り越して実施するものです。このほか、平成23年度より小学校5・6年生に週1時間の「外国語活動」が導入されることの方策として、小学校の外国語指導助手(ALT)を2名増員し4名体制とします。

『計画推進に向けて』ですが、全国のコンビニエンスストアで市税

の納付ができるようにする「コンビニエンスストア収納事業」や、市税の収納率の向上を目指して設置する「収納サポートセンター運営事業」などに係る経費を新たに計上しました。このほか、厳しさを増す昨今の経済情勢にかんがみ、先に策定いたしました「上尾市緊急経済対策」に盛り込んだ事業についても必要な予算措置をしたところでは、

○平成21年度特別会計予算
国民健康保険特別会計予算については、保険給付費、後期高齢者支援金および共同事業拠出金を増額して編成しました。
工業住宅団地開発事業特別会計予算については、土地貸付収入を中心として編成しました。
公共下水道事業特別会計予算については、下水道整備区域を拡大すべく、管渠工事費を増額して編成しました。

介護保険特別会計予算については、「第4期上尾市高齢者福祉計画・上尾市介護保険事業計画」に基づき編成しました。
後期高齢者医療特別会計予算については、各市町村で実施することになっている保険料徴収に係る経費と、後期高齢者医療広域連合への納付金で編成しました。
水道事業会計予算については、給水戸数8万7,000戸、年間総給水量2,237万5,000立方メートルに目標を定め、編成をいたしました。
総事業費55億9,600万円で対前年度3・77%の減額となり、その内訳として、収益的支出は42億円、資本的支出は13億9,600万円を計上しました。

○条例

上尾市教育委員会の委員の定数を定める条例の制定については、教育委員会の委員の定数を法定数の5人から6人に増員したいので提案するものです。

上尾市介護保険条例の一部を改正する条例の制定については、介護保険の保険料率について、その設定区分を被保険者の負担能力に応じて細分化するなどの改定を行いたいので提案するものです。

21年度 一般会計予算 総額 506億6,000万円

会計名	予算額 (対前年比)
一般会計	506億6,000万円 (5,600万円)
国民健康保険特別会計	208億2,120万円 (2億8,050万円)
工業住宅団地開発事業特別会計	137万円 (△81万円)
公共下水道事業特別会計	54億7,200万円 (4億6,710万円)
老人保健特別会計	1億1,080万円 (△9億9,490万円)
介護保険特別会計	87億7,950万円 (8億1,520万円)
後期高齢者医療特別会計	16億4,360万円 (△1,700万円)
水道事業会計	55億9,600万円 (△2億1,900万円)

老人保健特別会計予算については、平成20年4月の後期高齢者医療制度のスタートに伴い老人保健制度が廃止されましたが、本特別会計は、過年度の清算業務を実施するため平成22年度まで存続させるもので、予算額は大幅に減少しています。

委員会審査から

総務、文教経済、建設水道消防、福祉の各常任委員会は、付託された議案などを審査しました。以下、審査の過程で取り上げられた質疑の中から主なものについてお知らせします。

文教経済常任委員会

△予算メモV 国
補正予算
小中学校校舎耐震
補強工事を促進

△予算メモV 国の補正予算を活用し、大石南小学校・瓦葺小学校・東町小学校・大石北小学校・上尾中学校・瓦葺中学校の耐震補強工事などの費用を計上。工事は平成21年度に繰り越して実施する。

委員 上尾中学校について、今回は北校舎のみの改造工事だが、残りの校舎はどうするのか。また改修をする校舎の優先順位を伺いたい。

答 上尾中学校の南校舎は建築年数も古く、改築を含め検討しているところである。大規模改修、耐震工事の優先順位は建築年度に関係なく、耐震強度の低い校舎、

危険度の高いものから優先に行っている。

建設水道消防常任委員会

△予算メモV
当初予算
宏栄橋の耐震補強な
どの工事費用を計上

△予算メモV 宏栄橋の耐震補強、落橋防止、はく落防止などの工事を行う費用を計上。

委員 宏栄橋耐震補強等事業の工事の内容について伺いたい。



耐震補強工事が行われる宏栄橋

答 耐震補強工事として主に3点の工事を行う予定でいる。1点目は柱に鉄筋を入れたコンクリートを巻き込む柱の補強、2点目は柱が桁を受ける「あご」といわれる部分の張り出しを大きくした

り、鎖をはめて落ちないようにしたりする落橋防止、3点目はコンクリート部分に樹脂を塗り雨水の浸透やはく落の防止をする工事である。

総務常任委員会

△予算メモV
当初予算
バナナキッズ移転に
よる課題は

△予算メモV 障害児学童保育室バナナキッズの運営に対する補助金を引き続き計上。

委員 バナナキッズが上尾東高校跡地に移ることにより、どのような変化や課題があるのか伺いたい。

答 移設したバナナキッズには、上尾特別支援学校の子どもたちに加え、東高校の跡地に新たにできたかしの木特別支援学校の子どもたちが通うことになり、運動会などの学校行事スケジュールの違いによる対応が必要になる。

また、今まではバナナキッズの指導員が上尾特別支援学校まで迎えに行っていたが、移設後のバナナキッズまでは2キロメートルぐらいになるので、上尾特別支援学校のスクールバスをバナナキッズまで回るルートにしてみようよう

県と調整中である。



移設されたバナナキッズ

福祉常任委員会

△条例制定
介護保険料改正の影
響は

○上尾市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

被保険者の負担能力に応じて、保険料段階を現行の6段階から8段階9区分に改めるもの。

委員 介護保険料の改正について、今回保険料区分を6段階から8段階にしたが、見直しに当たって配慮したことや保険料が上がる人がどのくらいいるのか伺いたい。

答 保険料区分は税制改正の激変緩和措置が平成20年度で終了す

るため、なるべくその影響がないように配慮した。

保険料は下がる人がほとんどだが第8段階で年額4,100円上がる人が2,174人、それ以外には第5段階で激変緩和措置を受けていた人の一部、33人が年額1,200円上がることになる。

賛成討論

要旨

平成21年度上尾市一般会計予算について、次の点で賛成する。

市民の自発的な活動が行える場を提供するための市民活動支援センター整備事業が新たに計上されているが、市長のマニフェストに掲載されている事業でもあり、市民同士の交流の場や活動の場が提供されることを評価するとともに、多くの市民の利用促進が図られることを期待する。

今後予測される地震及び洪水に対して、事前に危険な個所を周知する災害ハザードマップ作成事業については、安心・安全なまちにつながる事業として、広く市民に啓発してほしい。

コンビニエンスストア収納事業や収納サポートセンター運営事業に係る経費が計上され、新たな収納対策として収納率が向上するこ

とを強く期待する。

後期高齢者人間ドック検診・宿泊施設利用補助事業は、制度改正により補助が受けられなくなった方に対する上尾市独自の施策として20年度から実施された事業が継続されるもので、県内でも一足早く取り組んだ市の姿勢を高く評価する。

救急医療体制強化事業として、小児二次救急医療の受け入れ体制が週5回から週6回に拡充され、また、各種がん検診事業として、乳がん検診の自己負担が無料となる。これらは市長のマニフェストに掲げられた取り組みであり、市民に安心を届ける事業である。

新型インフルエンザの対策事業として、対策用品の整備や予防知識を啓発するための市民対象の講演会の開催経費などが新たに計上されており、感染症に関する不安を解消し安心・安全な対策が強化されることを強く要望する。

妊婦健診の無料健診を、新たに5回から14回に拡大することについても、市長のマニフェストに沿う事業であり、子育て世代を応援する積極的な取り組みであると評価する。

上尾駅整備事業では、14億3,

700万円が計上され、市の新たな顔づくりがいよいよ本格的に推進されていく。多くの財源が伴う事業でもあり、市民にとって満足度の高い駅整備が進められていくよう要望する。

上尾駅から西側の幹線道路である上尾・平方線の沿道で工事が進められている電線地中化事業は、駅から直結している道路でもあり歩道空間の確保や良好な景観形成が図られる事業であり、継続的な推進を期待するとともに、非常に交通量も多い道路でもあることから、工事中の安全対策については、徹底するよう要望する。

小・中学校の校舎の耐震診断から耐震補強設計および老朽化に伴う校舎改築、耐震補強に係る大規模改造事業などについて、引き続き予算が計上されている。児童・生徒の安全対策として非常に重要な施策でもあり、早急な整備が進められることを要望する。

上尾市緊急経済対策に掲げた各種施策についても必要な予算措置がされている。市長のリーダーシップのもと、迅速で的確な対策が講じられていることに敬意を表するとともに、国・県の経済対策に関する方策を活用しながら、関係団体と

連携し、一日も早い景気回復が図られることを切に願うものである。

反対討論

要旨

平成21年度上尾市一般会計予算について、次の点で反対する。

同和事業関連の予算について、北足立郡市町同和対策推進協議会負担金、部落解放運動団体補助金、人権保育研究会負担金など人権保育にかかわる予算、また予算の7割以上が同和団体の主催する研修や集会となっている人権問題研修会負担金について、同和対策に関する法律は2003年になくなり、5年間の経過措置の期間も過ぎた。同和を中心とした人権施策は、むしろ差別を温存するものであり反対する。

2つの児童館を指定管理者に指定することに反対する。2館の事業は、市民のみならず市外からも大勢訪れるなど非常に好評である。児童館事業は子どもたちの活動の場を広げ、文化に触れる機会を増やすなど、さらに発展させるものでなければならぬ。何よりも子どもたちの安全を第一に考えるならば公的責任が求められる。国民保護計画推進事業について、国民保護計画の目的は、架空

の武力攻撃の事態を想定して対ゲリラ、核兵器攻撃に対処する訓練をするものであり反対する。

上尾駅周辺整備事業、上尾中山道東側地区市街地再開発事業、上尾駅東口ペDESTロリアンデッキ整備事業については、すべて駅周辺整備にかかわるものであるが、総事業費が当初言われていた107億円から、昨年度は126億円と大幅に増額され、今年度は鉄骨や石油などの値上がりによってさらに事業費が拡大するということが、国からの補助金の増額をはかっていることが明らかにされた。今後、総事業費がますます拡大し、市民負担がいつそう重くなることは明瞭である。駅周辺整備は、最低限必要なバリアフリーなどの改修にとどめるべきであり、再開発事業は地元商店との競合やビル風、交通渋滞など、まちづくりの観点からも現在の計画の見直しを求め反対する。

教育については、3つの達成目標を達成するために学校現場では事前テストを実施したり、規律に關しての指導で「くつそろえ」と「あいさつ」を点検カードでチェックしたりするなど、教職員の仕事が増加している。また市の学力テ

ストは開始から5年が経過し、同時期に国・県も同様のテストを実施している。学力の向上をめざして実施していることだが、サンプル調査で十分である。子どもたちを数値で評価する学力テストや3つの達成目標は、子どもを見る目を狭めるもので反対する。

公民館事業について、正規の職員を3人から2人にし、社会教育指導員を代替で配置することが示されたが、公民館は生涯学習の拠点として多くの地域住民が利用しているもので、公民館に従事する職員は広い視野と専門性に裏打ちされた専門的な力量が求められている。社会教育指導員の配置は、正規職員を減らす一環としか見えないことから反対する。

今議会で決まった人事

公平委員会委員に

関口 亨氏

関口亨氏の任期は平成21年3月31日で満了となるが、同氏を再び選任することに同意を求められ、全会一致で同意しました。

▽関口 亨氏 / 80歳
住所は上尾市原新町3-42

平成21年第1回臨時会

定額給付金や子育て応援特別手当などに関わる予算を可決

平成21年2月13日に、第1回臨時会が開催され、定額給付金などに関する補正予算を全会一致で可決しました。

市長の提案説明から

平成20年度上尾市一般会計補正予算(第4号)について、国の平成20年度一般会計補正予算(第2号)の成立を受け、「定額給付金」や「子育て応援特別手当」について、速やかに支給できるように

向け速やかに事務作業に着手する必要が、計上するものです。 民生費および教育費には、子どもたちの安心・安全な保育・教育環境の構築のために、「地域活性化・生活対策臨時交付金」を活用し、市立保育所および市立幼稚園のガラス飛散防止対策に係る経費を計上しました。

事務作業に着手するとともに、厳しさを増す昨今の経済情勢にかんがみ、先に策定した「上尾市緊急経済対策」に掲げた施策を早急に具体化する必要があることから、編成したものです。

その結果、補正額は36億6,957万6,000円となり、累計予算額は551億2,047万円となったものです。

主な事業について、総務費の「定額給付金給付事業」と民生費の「子育て応援特別手当支給事業」は、国の補正予算の成立を受け、これら給付金や手当の支給に

商工費には、2月4日に発表した「上尾市緊急経済対策」の大きな柱である「アップ・スマイル商品券発行事業」を計上しました。これは、消費者の購買意欲拡大などによる地域経済の活性化を図るため、10%のプレミアム付き商品券を発行するものです。定額給付金の支給に合わせ「アップ・スマイル商品券」を発行することにより、定額給付金が直接消費につながり、地域経済の一層の活性化が図られるものと期待するところです。

これらを賄う財源として、「定額給付金給付事業」と「子育て応援特別手当支給事業」については、

上尾市緊急経済対策について 全員協議会を開催

2月13日、第1回臨時会終了後に、全員協議会が開催されました。

これは、上尾市緊急経済対策が、市長を本部長とした上尾市緊急経済対策本部で決定したことから、市議会に対して実施内容の説明が行われたものです。

会議では、市内における雇用状況や中小企業、市民生活に対する支援策などについて、活発な質疑や意見表明が行われました。



上尾市緊急経済対策に対する全員協議会の様子

このような状況の中、迅速かつ最
悪化する経済情勢の直撃を受
け、多くの市民の皆様の家計は苦
しいやりにくさを強いられています。

理解している。
国の第2次補正予算で組まれた
定額給付金は生活緊急支援という
目的と景気の下支えという大きな
意義を踏まえた経済対策の一環と
理解している。

賛成討論

要旨

それぞれの国庫補助金を全額充当し、また、その他の事業については、国の補正予算で新設された「地域活性化・生活対策臨時交付金」を全額充当するものです。

善の方法として定額給付金の速やかな給付が求められている。
また景気の下支えという意義から、給付金を契機として消費を喚起することが必要である。地域経済の活性化を図るためにも、プレミアム付商品券である「アップピ
ー・スマイル商品券」の発行に賛成する。

子育て家庭において小学校就学前3年間は、幼稚園などの費用負担が重く、子育て応援特別手当給付事業は今の経済状況だからこそ重要な手当として考えられる。
今回の諸事業の速やかな実行により上尾市民の生活支援と地域経済の活性化の一助となることを願
い補正予算に賛成する。

子育て家庭において小学校就学前3年間は、幼稚園などの費用負担が重く、子育て応援特別手当給付事業は今の経済状況だからこそ重要な手当として考えられる。
今回の諸事業の速やかな実行により上尾市民の生活支援と地域経済の活性化の一助となることを願
い補正予算に賛成する。

平成21年第1回臨時会提出議案とその結果

◎市長提出議案 (1件)

○=賛成 ×=反対 △=賛成・反対

議案番号	件名	議決結果	新政	共産	公明	民主	無党派
議案第1号	平成20年度上尾市一般会計補正予算(第4号)	原案可決	○	○	○	○	○

平成21年3月定例会提出議案とその結果

◎議員提出議案 (7件)

議案番号	件名	議決結果	新政	共産	公明	民主	無党派
議第1号議案	地方分権の推進に関する意見書	原案可決	○	×	○	○	○
議第2号議案	中小企業対策の充実・強化に関する意見書	原案可決	○	○	○	○	○
議第3号議案	不況下における緊急雇用対策の強化を求める意見書	原案否決	×	○	×	○	△
議第4号議案	後期高齢者医療制度の廃止を求める意見書	原案否決	×	○	×	○	△
議第5号議案	障害者自立支援法の見直しを求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○
議第6号議案	「緑の社会」への構造改革を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○
議第7号議案	今後の保育制度の検討に係る意見書	原案可決	○	○	○	○	○

◎委員会提出議案 (1件)

議案番号	件名	議決結果	新政	共産	公明	民主	無党派
委第1号議案	上尾市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決	○	○	○	○	○

平成21年3月定例会提出議案とその結果

◎市長提出議案 (33件)

○=賛成 ×=反対 △=賛成・反対

議案番号	件名	議決結果	新政	共産	公明	民主	無会派
議案第2号	平成20年度上尾市一般会計補正予算(第5号)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第3号	平成20年度上尾市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第4号	平成20年度上尾市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第5号	平成20年度上尾市老人保健特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第6号	平成20年度上尾市介護保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第7号	平成20年度上尾市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第8号	平成20年度上尾市水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第9号	平成21年度上尾市一般会計予算	原案可決	○	×	○	○	△
議案第10号	平成21年度上尾市国民健康保険特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○
議案第11号	平成21年度上尾市工業住宅団地開発事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○
議案第12号	平成21年度上尾市公共下水道事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○
議案第13号	平成21年度上尾市老人保健特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○
議案第14号	平成21年度上尾市介護保険特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○
議案第15号	平成21年度上尾市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○
議案第16号	平成21年度上尾市水道事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	○
議案第17号	上尾市自転車駐車場条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○
議案第18号	上尾市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○
議案第19号	上尾市職員の育児休業等に関する条例及び上尾市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○
議案第20号	上尾市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○
議案第21号	富永国際フレンドシップ基金条例を廃止する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○
議案第22号	上尾市介護保険給付費準備基金条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○
議案第23号	上尾市介護従事者処遇改善臨時特例基金条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○
議案第24号	上尾市介護保険高額介護サービス費等資金貸付基金条例を廃止する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○
議案第25号	上尾市教育委員会の委員の定数を定める条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○
議案第26号	上尾市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○
議案第27号	上尾市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○
議案第28号	介護保険法及び老人福祉法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○
議案第29号	上尾市介護保険事業計画等推進委員会条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○
議案第30号	市道路線の認定について	原案可決	○	○	○	○	○
議案第31号	市道路線の認定について	原案可決	○	○	○	○	○
議案第32号	市道路線の認定について	原案可決	○	○	○	○	○
議案第33号	公平委員会委員の選任について	原案同意	○	○	○	○	○
議案第34号	平成20年度上尾市一般会計補正予算(第6号)	原案可決	○	○	○	○	○

※新政=新政クラブ(13人)、共産=日本共産党上尾市議会議員団(5人)、公明=公明党上尾市議団(5人)、民主=民主クラブ(3人)、無会派=会派に所属しない議員(4人)

◆ 行財政一覽

収納サポートセンターの運営は

問 収納サポートセンターは、納税意識の向上と収納率向上のため設置することだが、滞納件数の減少、意識の向上のためにも有効なセンターとしていただきたい。具体的にどのような体制や業務内容か、また目標などを伺いたい。

答 は、早期段階での滞納解消を目的とし、市税、国民健康保険税のほか介護保険料、保育所児童保護者負担金などの公金も含め電話催告による自主納付を促進するとともに、今後の公金滞納対策の研究・検討を行っていく。

ここが問題
そこが聞きたい
Q&A

3月定例会の一般質問は、3月10・11・12・13日の4日間行われ、19人の議員が登壇し、市政全般51項目にわたって市当局の見解を求めました。また、4日間で158人の皆さんが議会を傍聴しました。一般質問の主な内容は次のとおりです。(各議員の一般質問の中から1項目のみを掲載しました)

体制は、市職員が管理を行い、非常勤嘱託職員2名となる。業務内容は、現年度の納期限が経過し督促状を発送後一定期間経過しても納付確認ができない納税者に対して、在宅率の高い土曜日、日曜日を中心に週4日、日常的に電話催告を行うほか、コンビニエンスストア納付のPRを行う予定である。今後、納税率の目標管理や新たな徴収対策を常に試みて、納税率の向上に努めていきたい。

児童館の指定管理者の選定は

問 児童館の指定管理者の公募は、複数の選定業者が必要であり、児童館の性格から子育て支援に理解と経験がある事業者がふさわしいと思う。そのような目的に沿った選定基

準を考慮して、公募には情報の公開が不可欠であり、それまでに情報公開方法を決定し実施すべきと思うが、見解を伺いたい。

答 平成22年4月から2つの児童館に指定管理者制度を導入する予定だが、現在公募する方向でいる。まず、平成21年7月以降、指定管理者の応募に関する募集要項を作成し、公表することにしており、募集要項の中には、児童館管理に関する基本的考え方、応募資格、業務内容、提出書類などを記載する。この募集要項などを市のホームページへ掲載し、さらに関係窓口での配布により、市民にお知らせしたいと考えている。



指定管理者制度導入予定の児童館アッピーランド

◆ 経済対策

上尾市緊急経済対策の事業の前倒し発注は

問 川口市では未執行の施設修繕や道路補修など約250件を発注、戸田市でも公共工事の前払い金の支払い対象を拡大とのことである。上尾市においても緊急経済対策の中で対策が予定されているが、どの程度の規模で実施されるのか伺いたい。

答 緊急経済対策として、平成21年度の事業前倒し発注を可能な限り早期に行うことで、中小企業に対する経済対策を図るとともに、併せて雇用促進につなげられることを目的として実施する。現時点では公共下水道工事や道路修繕工事などの5月上旬までの発注で2億8,000万円ほどを見込み、また今回の補正予算で小学校校舎および中学校校舎大規模改造で12億5,115万1,000円を見込んでいますので、これらを合計すると15億3,000万円規模になる。このほかの事業についても、今後さらに調整していきたい。

アップピー・スマイル商品券の経済効果とスケジュールは

問 市民は大規模な景気対策を待ち望んでいる。生活者支援としてプレミアム付商品券の経済効果と具体的なスケジュールについて伺いたい。

答 アップピー・スマイル商品券発行事業は、緊急経済対策の大きな柱として実施するもので定額給付金の交付時期と合わせることで定額給付金の経済波及効果をより高めるものと考えている。

また、今回の商品券は、加盟店全店で使用できる「共通券」と大型店以外で使用できる「専用券」とに分けることで、地元小売店などにも配慮した。スケジュールは、商品券の販売を5月9日午前10時から開始し、利用可能期間は発売日から8月2日までである。

市民への周知は、「広報あびお」および商工会議所の情報誌「あびお」のほか、市のホームページに掲載する。さらに、定額給付金の通知の中にもアップピー・スマイル商品券の案内をしている。販売場所は、平方、原市、大石、

上平、大谷の5支所と上尾駅東西の大型店などを予定している。



アップピー・スマイル商品券（見本）

失業者に対する住宅支援策は

問 年末から仕事を失うと同時に家を失う労働者からの相談が相次いだ。対応する中で一番困ったのが相談を受けたその日からの寝泊りする場所の確保であった。

答 今後も、不測の事態に備えた一時的に寝泊りできるシェルターが必要であると考え、見解を伺いたい。

上尾市緊急経済対策の中の住宅支援策として、

県営住宅、都市再生機構の賃貸住宅や雇用促進住宅などの貸し付けに関する情報提供を行っている。

今後、実際に住居に困っている離職者の実態を把握しながら、離職者に対する住宅貸し付けの入居条件の緩和やまだ入居が決まっていない部屋に緊急避難的に居住ができないかなどを、管理元の住宅供給公社、都市再生機構、ハローワークなどに対し働きかけをしていきたい。

失業者への生活支援対策は

問 失業者への生活支援対策では、とりあえずすぐに生活費が必要である。緊急融資についてはどのような制度があり、どのような対応ができるのかを伺いたい。

答 市独自の失業者に対する生活支援のための貸付

制度は現在ないが、生活保護を申請した方に対し手持ち金がなく生活保護決定までの間の生活費に困窮している場合は、上尾市社会福祉協議会の制度で緊急生活福祉資金を活用し対応している。

今後も生活保護の申請が増加す

ることが予想されることから、上尾市社会福祉協議会に対し緊急生活資金の原資の増加をお願いしている。

こうしたことから、現状では生活保護制度や市社会福祉協議会の制度の中で対応していけるものと考えているが、今後急激な雇用状況の対応などで難しくなってきたときには、さらなる増資などを検討していきたい。

環境・産業

水道庁舎における地球温暖化対策の取り組みは

問 水道部は、一昨年と昨年、地球温暖化対策の一環として水道庁舎の1、2階の事務所東側にゴーヤとアサガオを植え、壁面緑化に取り組んでいたが、その効果と平成21年度の取り組みについて伺いたい。

答 水道部では、平成19年度に壁面緑化としてアサガオをプランターに植えたが茎が細く、葉も小さく、花は咲いたものの壁面緑化の役目は果たさなかった。平成20年度は、真夏の日照に強いゴーヤの苗を植えたところ

3月定例会の

一般質問

質問順に掲載（本文の記事は順不同）

深山 孝

- ・ 商工施策及び経済対策について
- ・ 上平地区の基盤整備について
- ・ 教育問題について
- ・ 健康福祉について

田中 元三郎

- ・ 上尾市の農業政策について

武藤 修

- ・ 防災
- ・ ぐるっとくん
- ・ 国際交流
- ・ アッピー体操
- ・ 西宮下中妻線
- ・ 地デジの対応について

斉藤 隆志

- ・ 平成21年度予算編成について
- ・ 教育行政について
- ・ 芝川の環境整備について

遠藤 朝子

- ・ 安心して受けられる介護保険制度の見直しを
- ・ 高齢者が安心して受けられる医療制度を

池野 耕司

- ・ 産業振興について
- ・ 市税等の滞納削減対策について
- ・ 教育について
- ・ AEDについて

問

水害対策に対する警防活動で、水位計や監視カメラを設置して水位の動向を把握し、

水害対策に対する警防活動は

ろ、梅雨が明けると同時に大きくなり緑のカーテンになるとともにゴーヤを収穫することができた。また、ヒートアイランド現象防止の屋上緑化については壁面緑化の経験を生かし、平成21年度は屋上に大型プランターを置き、つる性で日照りに強いサツマイモに挑戦したいと考えており、引き続き地球温暖化防止対策に取り組んでいきたい。

答

危険水域に達したときには、防災行政無線あるいは消防車を活用した広報活動ができないか。また、車の避難場所の確保を行政として対応ができないかを伺いたい。

水害対策に対する警防活動は、気象庁の警報だけでなく民間の気象情報会社と契約して、より精度の高いデータから判断し準備をしている。今後はゲリラ豪雨などで被害が予想される場合には、防災行政無線などにより低地の浸水や河川の増水に注意を呼びかけていく。また、過去に被害を受けた地域では、自主防災組織の方々と連絡を取り合いながら被害を最小限にと

問

多くの農業経営者が季節感あふれる多品種の作物を市民に提供することで、市民は上尾の農業について親しみと豊かさを感じるのではないか。

農地の売買や貸し借りを円滑にする方法は

どめていきたい。そして、避難場所についても増水前に公共施設などを開放するとともに、今後は公園などを順次一時避難場所として指定していく。河川の定点カメラや水位計の設置は、機器の種類、構成、予算規模など県で設置しているシステムを参考に研究していきたい。

答

上尾の農業人として一生働いていく決意をもつ認定就農者のために、農地の売買や貸し借りを円滑にする方法について伺いたい。

認定就農者のための農地の売買や貸し借りは、現行の法制度では現に農業を営んでいる農家を対象としていることから新規就農者が農地を取得することや貸し借りすることは法制度が整っていないのが現状である。近年、農業や農地に関連した法改正が盛んに行われてきており、また、現在国会においても農地の権利移動規制の見直しを含む農地法の改正をはじめ幾つかの農業関係法が議論される予定であるのでその動向を注視していきたい。

街路灯のナトリウムランプの普及は

問

環境対策は、自然環境への配慮を抜きにした行動は考えられない。省エネルギーとされる電気設備の利用もその一つである。既に省エネ型の蛍光灯の利用が進んでいるが、街路灯を水銀灯から省エネタイプのナトリウムランプに切り替えることも地球温暖化対策の一環である。その利点は、消費電力量が減ることなどでその電力費が削減されることになる。そこで、省エネタイプのナトリウムランプに切り替えることについて見解を伺いたい。

答

市が管理している主要幹線道路などの大規模道路や夜間の歩行者交通量が極めて多い場所などに、水銀灯からナトリウムランプの設置を進めているところである。

新規設置状況は、つつじ苑の進入道路、上平第三土地区画整理組合内の緑丘南線・西門前久保線、北上尾駅ロータリーなどがある。他に県道、国道にも新型のナトリウム灯が設置されており、その数は年々増加している。今後も適切

な場所へ配置していきたい。



つつじ苑進入道路のナトリウム灯

都市整備

サイクルタウンあげおの実現は

問

サイクルタウンあげおは、平成10年の環境基本計画の中で、自動車の利用を控えて徒歩や自転車、バスの利用などに転換しようと大きく掲げられた。サイクルタウンあげおのまちづくりが実現すれば、環境面や健康面だけでなく、1つのまちおこしとしての効果もあると思う。

環境にもやさしく、市民が健康で、自転車に乗るのが楽しいと思えるまち、上尾といったらサイクルタウンとだれもが言えるようなまちづくりを今後長期的ビジョン

で考えてほしいと思っているが、見解を伺いたい。

答

近年における自転車の役割は、単なる交通手段の一つというだけでなく、地球温暖化の防止や健康増進など幅広くなり、人と地球にやさしい乗り物として極めて有効であると考えられている。今後も環境保護への関心や健康志向の高まりとともに、自転車はますます身近な交通手段として位置付けられると思うが、自転車です内を快適に移動できるまちづくりのためには自動車や歩行者など自転車以外の通行者も安全に通行できる環境づくりも必要である。これらの実現のために、他市の事例を調査研究し、事業所や団体などからも協力を得ながら検討していきたい。

芝川側道の整備状況は

問

自然の水辺の空間や緑は、人々にゆとりや潤い、安らぎを与えてくれる。地域の人々にとつて芝川沿いは自然の多い空間である。

そこで、芝川の側道の整備と根貝戸団地から上流の東橋間の今後

の整備計画について、現況と進捗よく状況について伺いたい。



整備済の芝川の側道（アッピーランド周辺）

答

芝川側道は、幅5メートルの用地買収を行い、芝川管理用地と合わせて幅員6メートルの道路として整備するが、さいたま市境の西長橋から、上流の県道上尾・久喜線の坊ノ下橋までの延長4,550メートルに対し、既存道路を含め3,458メートルの供用開始をしており、現在76パーセントの進捗率となっている。また、未整備区間のうち岡橋から上流の矢岳橋の間は、測量業務が完了しているが、矢岳橋から上流の東橋の間は、測量業務に着手していない。しかし、芝川沿線には上平公園やアッ

ピーランド、東小学校、上尾保育所など利用者が多い公共施設があり側道の必要性が高いことは承知しており、近隣住民や利用者が安全かつ快適に利用できる側道整備に向け努力していきたい。

福祉・保健

妊婦健診の拡充は

問 妊婦健診について、14回分の受診票を渡すのは4月からで、上尾市としては2月からの健診も対象とし、2月・3月の2カ月分については償還払いとするというのだが、該当者に

はどのようにお知らせするのか伺いたい。

答 妊婦健診の拡充の時期は、平成21年4月から受診票を利用しての公費負担を5回から14回に拡充する。しかし、今回の公費負担の拡充は、国の緊急経済対策における第二次補正予算の妊婦健康診査臨時特例交付金制度で実施するものであり、適用開始は市町村に任されている。

上尾市では、平成21年2月から健診を対象とし、2月・3月受診分は償還払いでの対応とする。なお、償還払いについての周知方法は「広報あげお」、「上尾市ホームページ」への掲載、該当者への個別通知および4ヶ月健診での

伝達を考えている。

児童虐待防止対策としてCAPプログラムの取り組みは

問

CAP（キャップ）プログラムは、女性の性暴力防止プログラムを子ども向けとして応用、発展させてつくられ、日本でも本格的に取り組まれるようになり、各地で有効との声が上がっているとのことである。保護者講演会では、被害を受けたときの対応、被害にあった子どもの心理状態、心の傷を最小限にする方法などの説明が受けられる。

以前のCAPプログラムについての質問では、実際に実施した小

学校が1校、実施してみたいと答えた学校が25校との答弁であったが、その後の取り組み状況について伺いたい。

答

CAPプログラムの取り組み状況は、研修会ですら主に保護者を対象とし、PTA活動の一環で平成18年度は中学校3校、平成19年度は小学校2校と中学校2校、平成20年度は中学校1校が実施している。参加者からは、子どもたちをさまざまな暴力から守るための保護者の意識が高まったと聞いている。また、児童、生徒については、主に特別活動や総合的な学習の時間を通して、自分を守るためにどんなことができるかを学んでいる。

秋山 もえ

- ・ 公的責任で保育の充実を
- ・ 妊婦健診とこども医療費の拡充で安心して子どもを産み育てられる環境を
- ・ つくし学園の充実と障害者自立支援法の今後について

橋北 富雄

- ・ 学校施設について
- ・ 環境問題について

長沢 純

- ・ 平成21年度予算とマニフェスト
- ・ 道路整備について

鴨田 幸子

- ・ こどもの人権問題について
- ・ 学校教育について

道下 文男

- ・ あげおふるさと学園について
- ・ 公売システムについて
- ・ 市民の安心安全について
- ・ 障害者施策について

佐野 昭夫

- ・ 不況下における緊急雇用対策の強化と計画性について

武藤 政春

- ・ H21年度の行財政運営について
- ・ 都市計画線引き見直しは
- ・ 環境対策について

老人だんらんの家事業の現状と課題は

問

いくつかの事務区では老人だんらんの家事業とは別に、お年寄りの交流を図り、閉じこもりを防止するための事業が行われており、特に柏座二丁目の「サロン」と呼ばれる事業は大変好評だと聞いている。

そこで老人だんらんの家は現状にそぐわない点も出てきているかと思うが、この事業についての現状と課題について伺いたい。

答

老人だんらんの家は、孤独になりがちな高齢者の居場所づくりとして町内会、自治会がだんらんの場として提供するためのものである。

そのような中で地区社会福祉協議会で広めつつあるサロン活動と事務区が行うだんらんの家事業が同じ事務区内で行われているため、どちらの活動としてよいものかという混乱も見受けられる。参加者にとつては活動の場が広がるといった良い面もあるが、老人だんらんの家の運営については高齢者の考え方や地域づくりの変化に合わせて、検討が必要になると考

えている。



柏座老人だんらんの家 (柏座公民館)

介護保険料の改定時の配慮は

問

第4段階の人たちの介護保険料については、本人の市民税が非課税で世帯員に課税の人がいる場合であり、その中には本人の収入が全くない人から120万円くらいまでの年金収入がある人までが含まれていたことが、大きな問題だったと思っ

ている。 今回の介護保険料の改定で、この第4段階に所得の低い区分が設けられたことは大きな前進といえるが、どんな点に配慮して改定し

たのか伺いたい。

答

平成21年度から23年度までの第4期介護保険料は、負担能力に応じ段階を増やし8段階9区分に設定した。8段階の中には、第3期で減額されていた対象者の範囲を広げ特例第4段階と第5段階を設け、本来の保険料より低い額を設定するとともに、合計所得金額が400万円以上の人の新たな段階を設定し、基準額の1・75倍とした。さらに、介護給付費準備基金の取り崩し額8億円と、特例交付金を充て保険料の算定を行い保険料基準額は、3期より4,100円低い年額40,900円とした。

◆ 教 育

プレハブ校舎の現状と解消は

問

プレハブ校舎は、仮設的、臨時的なものとして設置しているとしているが、既に10年以上になつてきているものもある。臨時的と考えられる期間というのは何年間くらいとしているのか。また、学区検討委員会の結論はいつごろになる予定か伺いたい。

答

プレハブ校舎は、大石北小学校に4教室、東町小学校に4教室、大谷小学校に4教室、上尾中学校に4教室の16教室ある。人口の増加の地域において、一時的な児童、生徒の増加に対応するためのもので、特に何年間までという考えはない。

上尾市立小・中学校通学区域検討協議会については、毎年2回から3回開催され、市内全域の課題個所について必要に応じて検討している。

学区の見直しや調整区域の設定は、地域にとって非常にデリケートな問題であり、地域や保護者の意向を調査した上で慎重に審議していきたいと考えている。



上尾中学校のプレハブ校舎

中学生海外派遣研修の 今後は

問 中学生海外派遣研修の現状は、この研修に参加

した子どもの保護者から帰国後の子どもの成長ぶりを見て、「研修に参加させていただいて感謝している」という声が直接寄せられた。また参加した子どもからも「参加できてよかった」「一生の思い出になった」などのことをいただいた。国際感覚を養い未来をひらくという市民憲章を履行し、世界平和に貢献する子どもを一人でも育成するため、この事業の継続を望んでいる。そこで、こ

の事業の今後について伺いたい。



研修に参加した中学生たち(ロッキャーヴァレー市議会場)

答

中学生海外派遣研修は、平成6年からオーストラリアのロッキャーヴァレー市に派遣

町田 皇介

- ・「サイクルタウンあげお」の実現に向けて
- ・スポーツ広場等（地区の行事等を行う場所）について

井上 茂

- ・消防の広域化について
- ・水害対策について

糟谷 珠紀

- ・上尾市緊急経済対策を実効あるものに
- ・江川流域の埋め立てについて

清水 義憲

- ・安全・安心のためのボランティア活動について
- ・高齢者対象事業について
- ・市発注工事の入札制度について
- ・上尾運動公園西側区域移管について

秋山 かほる

- ・2009年度予算と今後の財政運営について
- ・指定管理者を決めて施設運営を委託することについて

西村 テル子

- ・2009年度予算編成について
- ・教育環境の整備について



あげおふるさと学園の 目的は

問 あげおふるさと学園は、生涯学習の観点で市民大
学として開園された。市民大学で

し、延べ392名の生徒が参加している。昨年10月に行われた市制施行50周年記念式典に、ロッキャーヴァレーの市長や現地議会の皆様をお迎えして、相互の友好のきずなを深めたところである。
この事業は、子どもたちの豊かな国際感覚を養い未来をひらく上尾市民の育成に大きく寄与するものであると考え、今後も引き続き継続していきたいと考えている。

答

あるあげおふるさと学園について、開設の目的と学園の内容について伺いたい。

あげおふるさと学園は、生き生きと自分を生かせ、いつでも自由に学習機会を選択して学べ、また学んだことを地域社会に還元していける体制づくりを目的として、平成12年10月に市民大学として開園した。

修了者の中には、生涯学習推進員や、まなびすと指導者バンクに指導者登録され講師として活躍されたり、自主グループを立ち上げ公民館などで活躍されたり、地域で防犯や福祉などのボランティア活動に携わりまちづくりに貢献されている方々もいる。

委員会活動 H21.1.16→H21.4.15



▲総務常任委員会の審査の様子



▲福祉常任委員会の審査の様子

*** 次回の6月定例会は、6月8日に開会の予定です。**

請願、陳情、要望の提出期限は、6月2日(火)までとなります。

詳しくは、議会事務局(☎775-9467)へお問い合わせください。

なお、上尾市議会ではインターネットを利用した議会中継を行っております。

上尾市議会HPアドレス
<http://www.city.ageo.lg.jp/shigikai/>

議会報編集委員

嶋田 一孝、町田 皇介、
 箕輪 登、新井 金作、
 長沢 純、井上 茂、
 糟谷 珠紀、秋山 もえ

今号より「あげお議会だより」がリニューアルされました。
 議会だよりに関するご意見・ご要望は議会事務局までお寄せ下さい。

委員会名	月・日	案件
総務常任委員会	3/3~4	・3月定例会提出議案6件を審査
文教経済常任委員会	3/5~6	・3月定例会提出議案4件を審査
建設水道消防常任委員会	3/3	・3月定例会提出議案9件を審査
福祉常任委員会	3/5~6	・3月定例会提出議案18件を審査
議会運営委員会	随時	・議会運営について協議(協議回数7回)
議会報編集委員会	1/16 3/2	・「あげお議会だよりNo.145」の内容について協議 ・「あげお議会だよりNo.146」の内容について協議

意見書5件を原案可決

3月定例会最終日の3月19日、議員提出議案として意見書7件を提出し、5件を可決しました。可決した意見書の件名と提出先は次のとおりです。

- ◆ **地方分権の推進に関する意見書**
 提出先⇒内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、衆議院議長、参議院議長
- ◆ **中小企業対策の充実・強化に関する意見書**
 提出先⇒内閣総理大臣、内閣官房長官、財務大臣、経済産業大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長
- ◆ **障害者自立支援法の見直しを求める意見書**
 提出先⇒内閣総理大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長
- ◆ **「緑の社会」への構造改革を求める意見書**
 提出先⇒内閣総理大臣、環境大臣、経済産業大臣、衆議院議長、参議院議長
- ◆ **今後の保育制度の検討に係る意見書**
 提出先⇒内閣総理大臣、厚生労働大臣